

平成28年度岡山県農林水産総合センター森林研究所（木材加工研究室）

試験研究課題評価結果票

<事前評価>

総合評価凡例 5：優先的に実施することが適当 4：実施することが適当  
 3：計画等を改善して実施することが適当 2：実施の必要性が低い  
 1：計画等を見直して再評価を受けることが必要

番 号	28-事前-1						
課題名	軸組耐力壁用途としての県産ヒノキCLTの性能評価						
課題の概要	新しい材料開発として取り上げられているCLTは、欧米を中心に中・大規模木造の壁や床に用いられる等、急速に普及が進んでいる。本課題では、我が国で広く普及している木造軸組住宅に、CLTを耐力壁として利用するための性能評価を実施する。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	4人	2人	人	人	人	4.7
	有効性	2人	4人	人	人	人	4.3
	効率性・妥当性	2人	4人	人	人	人	4.3
	総合評価	3人	3人	人	人	人	4.5
助言・指摘事項等	1 他県はスギ、岡山県はヒノキの対応が大変有意義な研究である。 2 独自のCLT技術が出来ると有用であり期待している。 3 多様で美しい空間がつくられるように願いたい。						

番 号	28-事前-2						
課題名	乾燥木材の生産・利用段階等の実態解明と問題点の検討						
課題の概要	乾燥技術について、生産、流通、利用の各段階における実態を把握し、詳細な分析を行うことによって問題点を抽出し、それらの解決方法について検討を行う。乾燥木材の利用は、製材品、木質材料のエレメント（ラミナ等）、化学処理材（防火木材等）など多岐にわたるが、それぞれにおいて未解決な問題点が存在すると考えられ、それらを整理し効率的な対応方法を明らかにする。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	5人	1人	人	人	人	4.8
	有効性	人	6人	人	人	人	4.0
	効率性・妥当性	3人	3人	人	人	人	4.5
	総合評価	4人	2人	人	人	人	4.7
助言・指摘事項等	1 将来、今後の20年間の木材乾燥研究の設定をするのに必要な研究である。 2 県全体としての利用形態が求められると有用である。 3 新たな第一歩になればと思う。課題の発見が次世代につながるよう期待している。						

番 号	28-事前-3						
課題名	生産現場に適応した岡山県産木質防火材料の製造技術の開発						
課題の概要	公共建築物等木材利用促進法が施行になり、木材が消防法の規制に対応できる性能を有することが望まれている。この要望に対応するため、木材が簡単には燃焼しないように、実大材における薬剤の注入処理等加工条件の確立を図るなど、生産現場に適応した岡山県産木質材料の開発を行う。						
評価結果	区 分	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	平均点
	必要性	4 人	2 人	人	人	人	4. 7
	有効性	3 人	3 人	人	人	人	4. 5
	効率性・妥当性	2 人	4 人	人	人	人	4. 3
	総合評価	3 人	3 人	人	人	人	4. 5
助言・指摘事項等	長尺材への注入であれば、その状態での燃焼があると興味深い。						

平成28年度岡山県農林水産総合センター森林研究所（木材加工研究室）

試験研究課題評価結果票

<事後評価>

総合評価凡例 5：著しい成果が得られた 4：十分な成果が得られた  
 3：一定の成果が得られた 2：見込んだ成果を下回った  
 1：成果が得られなかった

番 号	28-事後-1						
課題名	林地残材等の木質バイオマス燃料としての品質性能の分析						
課題の概要	未利用林地残材等を燃料として有効活用するうえにおいて、基本となる品質性能や含水率の適切な調整方法を明らかにする。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	1人	3人	2人	人	人	3.8
	有効性（効果）	1人	3人	2人	人	人	3.8
	有効性（目的以外の成果）	1人	4人	1人	人	人	4.0
	効率性・妥当性（費用対効果）	1人	3人	2人	人	人	3.8
	効率性・妥当性（計画）	1人	2人	3人	人	人	3.7
	成果の活用・発展性	1人	4人	1人	人	人	4.0
	総合評価	1人	3人	2人	人	人	3.8
助言・指摘事項等	1 実験結果により応用が考えられる。 2 直ちに有用な知見が得られるものでは無いと思う。この後も検討する必要がある。						